

日本興亜損保

「E A 21」認証取得を支援

中小向け新サービス

日本興亜損害保険は先月二十四日から、中小企業を対象に、環境マネジメントシステム構築支援制度「E A 21」(E A 21)の認証取得支援サービスを開始した。グループ会社のエヌ・ケイ・リスクコンサルティングを通じて、認証取得を目指す企業に対し、業種にかかわらず、関連情報や支援ツールを提供するほか、コンサルティングサービスなどを実施。企業の環境リスク軽減により、その保険リスク低減を図るとともに、新規顧客の取り込みなども狙っている。

ツール提供、コンサルも

制度は、環境省が策定した「E A 21」(E A 21)の認証取得支援サービスを開始した。グループ会社のエヌ・ケイ・リスクコンサルティングを通じて、認証取得を目指す企業に対し、業種にかかわらず、関連情報や支援ツールを提供するほか、コンサルティングサービスなどを実施。企業の環境リスク軽減を図るとともに、新規顧客の取り込みなども狙っている。

治体や大企業が入札やグリーン調達を行う際などの選定基準の一つとして採用される事例が増えてきたことから、その認証・登録件数も増加。先月二十日現在、八八二事業者になっている。

同社は、制度の概要や認証取得のポイントなどを解説するガイダンスを実施するのを始め、必要な文書・記録類のひな形や作成要領などを盛り込むCD-ROM「認証取

事業者負担で議論

環境省の石綿健康被害検討会 見舞金は調整外も

環境省は先月二十四日、「石綿による健康被害の救済に係る事業者負担に関する検討会」(座長・内山敏雄)の初会合を東京で、事務局を務める環

境省の担当者が同法やアセスメント輸入量などを説明したほか、「クボタな

診断することにも、報告しポートにまとめる「フルコンサルティングサービス」が二〇万円から、環境負荷チェックと取り組みチェックを訪問診断からになっている。

環境効率で覇権を！

フォーラムで 山本東大教授が強調

「環境効率」的な技術革新の機会を捕らえて、日本は技術と経営の両面で覇権を確立し、生き残りを図るべきだ。東京大学生産技術研究所の山本良一教授は先月二十七日、東京都江東区の日本科学未来館で開催された「環境効率最新動向セミナー」で講演し、気候

変動の影響が「待ったなし」の状況になったことに対し、「E A 21」の認証取得を支援する者が世界を制する」として環境効率の有効性を強調した。

ライオンが必ず必須二項目をクリアするための有料のコンサルティングサービス三種類を用意した。

「E A 21」(E A 21)の認証取得支援サービスを開始した。グループ会社のエヌ・ケイ・リスクコンサルティングを通じて、認証取得を目指す企業に対し、業種にかかわらず、関連情報や支援ツールを提供するほか、コンサルティングサービスなどを実施。企業の環境リスク軽減を図るとともに、新規顧客の取り込みなども狙っている。

「E A 21」認証取得を支援

「E A 21」(E A 21)の認証取得支援サービスを開始した。グループ会社のエヌ・ケイ・リスクコンサルティングを通じて、認証取得を目指す企業に対し、業種にかかわらず、関連情報や支援ツールを提供するほか、コンサルティングサービスなどを実施。企業の環境リスク軽減を図るとともに、新規顧客の取り込みなども狙っている。

「E A 21」が環境中期目標

各事業部門・事業所は個別目標の実現へ向け、



針の見舞金と事業者負担金の関係は「(委員)」「損害賠償に当たらない」として調整対象ではないと考えている(事務局)。「責任論とは切り離して議論して欲しい」「(同)など確認のやり取りがなされた。

次回会合は今月下旬にも実施する予定。

賞大賞 開始



このほか、東京大学大学院の松野泰也教授が同

要を解説。特に中国やインドなど、経済成長が急で、資源問題と環境問題の解決が必要な途上国の政策担当者が環境効率に對して高い関心を抱いていることを紹介した。